

ゴールドENTラウト・ドラド(金色の魚)

ゴールドENTラウトとは、北半球の3~5月、9~11月に、がけの上で釣ることが出来ます。ゴールドENTラウトはその名のとおり金色の魚です。大きさは50センチメートルぐらいでとてもレアな魚です。普通なら寿命は5~8年ですが、88年も生きた例もあります。僕は、魚と金色が好きなので、この魚が好きです。また、ゴールドENTラウトと同じの南米にいる約1・3メートルのドラドも好きです。この魚の出現率は1%で寿命は6年ぐらいです。他にも金色の魚は、ランチュウや、コメットなどいろいろいます。

このような金色の魚には、色素を持ち、鱗の裏側に光を反射する虹細胞という組織があるので金色に見えるのです。では、なぜ金魚は金色ではないのに、「金」とつくのでしょうか。それは、実は金魚の先祖は、およそ200年前に中国は長江で発見された突然変異の赤いフナ。西暦3世紀頃のことです。その後10世紀には宮廷で飼育されるようになりました。金運をもたらす魚として「金魚」となづけられます。

このように金色の魚にはいろいろな特徴があります。

